



# 薰銀別邸

KUNGIN  
BETTEI

いぶし瓦の邸宅で感じる  
里山の暮らしことく瓦。

今、多くの新築住宅が建つ一方で、その土地の瓦を使う住宅は減り続けています。光洋製瓦は一九二〇年の創業から、一〇〇年にわたり瓦屋根をつくり続けてきました。その工場の敷地内に、先代が建てた家があります。瓦屋根の技を尽くした瓦の邸宅。伝統的な日本家屋で過ごせる機会が少なくなったことから、滞在型工場見学施設として改装し、薰銀別邸をつくりました。工場見学だけでなく、土に触れる瓦づくりの体験なども可能で、暮らすように体感することができます。毎月数回行われる、いぶし瓦の窯出しに立ち会うことができるかもしれません。

瓦は建築マテリアルのひとつです。瓦を見るだけでは、屋根を知ることはできません。喧騒を離れ、地域文化によって育まれた伝統的な建築に触れ、理解を深めることができる場所となることを願っています。



## 播磨の風景に 溶け込むように

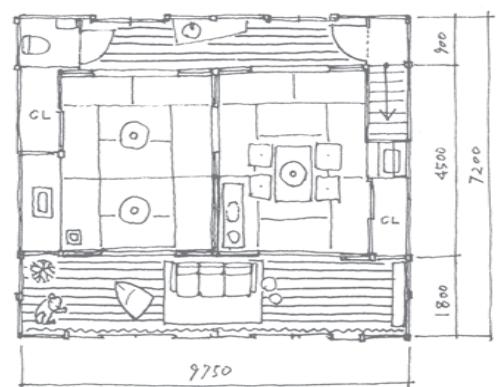
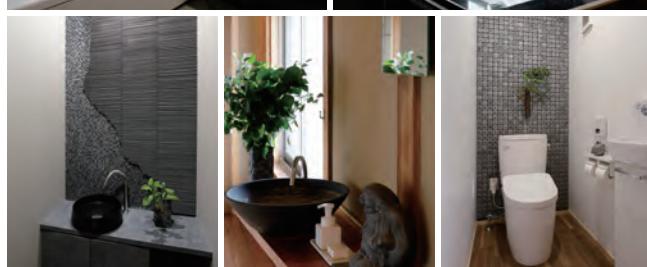
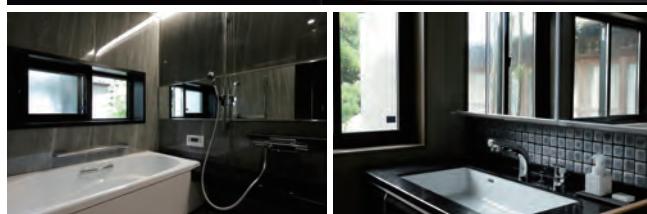
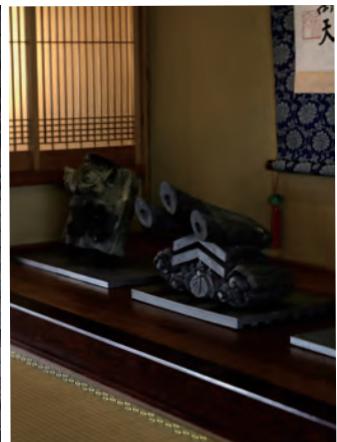
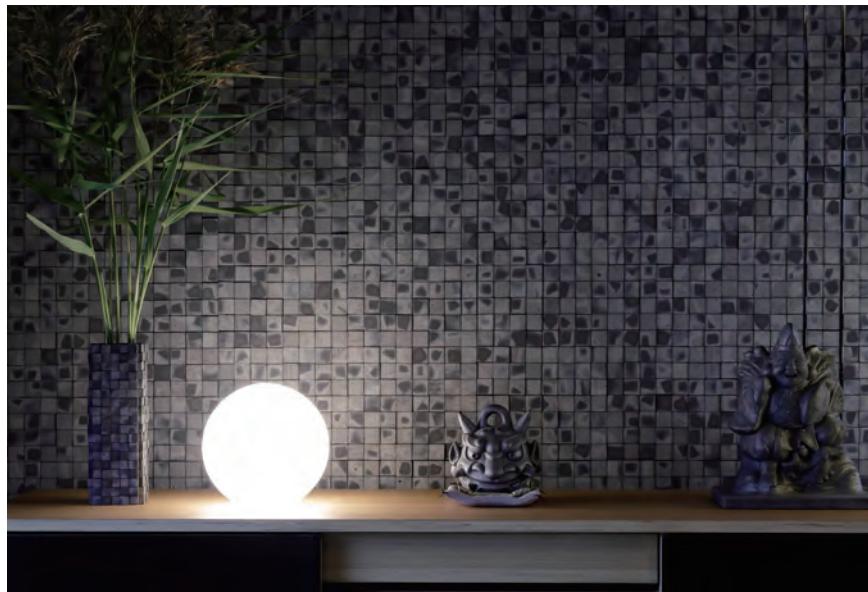
姫路市街から北に五〇キロほどの生野町に銀山が発見されたのは一五六七年。以来、清流市川に沿って拓けた集落は、銀の需要とともに発展しました。明治九年（一八七六年）には、近代化に伴い姫路港と生野鉱山とを結ぶ四九キロが、銀鉱物専用の馬車道として整備されました。その中間に位置する船津もまた、交通の要衝として栄えます。

姫路の瓦づくりの歴史は、約二〇〇年前までさかのぼります。姫路藩によって、神崎郡船津村で瓦に適した原料土が発見されたことによって始まりました。近代化と共に、「神崎瓦」として、いぶし瓦の産地に発展し、昭和の初め頃には多くの窯元が軒を連ねていました。現在の船津は、里山に囲まれた長閑な水田の風景が広がっていますが、光洋製瓦に残る煙突の遺構が、その繁栄を今に伝えています。経済の発展とともに栄えた先人の瓦づくりが、現在の播磨の風景をつくってきました。

大きく開かれた二階の窓からは、里山の風景を一望できます。畠山と城山を臨めば、風や雲の変化まで感じることができます。池のほとりに目を向ければ、鳥が降り立つ様子も見ることができます。下階の縁側に座れば、山水の庭が、心を落ちさせます。年間を通して、季節の移り変わりを感じることができます。ワーケーションの場としても、ご利用いただけます。

### 里山の風景を 体で感じる家





[ゲストルームについて]

- ・一日一組限定(6名まで収容) ・和室(10畳+10畳)、広縁10畳 ・禁煙
- ・お風呂 ・洗面所
- ・トイレ ・寝具 ・ドライヤー ・電子レンジ
- ・トースター ・電気ポット ・冷蔵庫 ・エアコン、暖房
- ・本などの読み物 ・Wi-Fi
- ・シャンプー ・コンディショナー ・ボディソープ
- ・タオル ・歯ブラシ ・スリッパ





[交通の案内]

- 車でお越しの方  
大阪国際(伊丹)空港から77km(約1時間)  
播但連絡道路 船津インターから1.6km(約5分)  
中国道 福崎インターから8km(約15分)  
姫路駅(姫路城)から12km(約30分)

●鉄道でお越しの方

- 大阪駅～姫路駅 JR山陽本線(54分)  
姫路駅～播但線 香呂駅(18分)  
香呂駅から3.7km(駅タクシー有)

●バスでお越しの方

- 姫路駅北口バス停 7番乗り場から  
61.山田経由北条行 太尾北口(40分)から50m  
62.大貫経由北条行 太尾北口(40分)から650m  
81.江鯛団地・南山田経由北条行  
太尾北口(40分)から650m

薰銀別邸 -KUNGINBETTEI-

所在地 兵庫県姫路市船津町5241-5

連絡先 0792-32-5295

メール info@koyoseiga.co.jp

●敷地内無料駐車場有

●一般公開はしておりますが、  
予約制となっております。

ご見学希望の際は、お問い合わせください。  
koyoseiga.co.jp

 光洋製瓦株式会社

